



トヨタ車体、3年連続「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定 スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」には、初認定

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市、代表取締役・社長：増井敬二）は、「経済産業省」と「日本健康会議*」が選定する「健康経営優良法人 2021」（大規模法人部門、ホワイト 500）に3年連続で認定されました。

健康経営優良法人制度は、経済産業省が進めるヘルスケア産業政策の一つで、とくに優良な健康経営を実践している法人を評価し、認定する制度です。

弊社の疾病予防対策や、健診の受診率向上といった「からだの健康」の取り組み、メンタル不調の未然予防に向けた相談体制の充実といった「こころの健康」の取り組みが評価され、認定されました。

また、スポーツ庁が認定する「スポーツエールカンパニー」には、初認定されました。

スポーツ庁では、「働き盛り世代」をはじめとして、国民全体のスポーツ実施率の向上につなげていく事を目的として、従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」として認定しています。

弊社の毎日の朝礼前の『おはよう体操』や健康教育・体力測定、定時後の運動教室（ヨガ教室など）を実施していることなどが評価され、認定されました。

今後も、従業員一人ひとりが心身ともに健康で、生き活きと働ける環境づくり、職場づくり、人づくりを推進してまいります。

*少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、行政のみならず、民間組織が連携し実効的な活動を行うために組織された活動体